

キャリア・コンサルティング技能検定2級 学科・実技（面接）試験 体験記

平成27年 3月23日

2級受検番号 NO 03S3520084 氏名 M.T

1 試験に向けた準備の状況

いつ頃から始めたか ・10月上旬より。

どのような内容を、どの程度行ったか

- ・論述の過去問題の解答を作成しました(3巡)。その傍ら、一緒に勉強している仲間と、過去問題で、それぞれが作成した解答をメールで送りあいました。
- ・「1級キャリア・コンサルティング技能士の会」の「2級技能士対策講座」に5回参加しました。
- ・一緒に勉強している仲間同士、スカイプでロープレの練習を行いました。

準備に対する振り返り

- ・論述では、CC視点の問題把握が苦手だったので、対策講座を受けた仲間数人で、それぞれが解答案を作成しあい、人それぞれの問題把握の視点が参考になりました。
- ・面接では、1級キャリア・コンサルティング技能士の会の「実技（面接）試験対策講座」を受けた後、仲間同士でロープレの練習をしました。同じ講座を受けているため、チェックするポイントの共通認識が取れており、お互いにフィードバックしやすかったです。

これから受検する人へのアドバイス

- ・面接試験では「2級技能士対策講座」で学んだ、システムティック・アプローチの流れを大事にしました。
- ・面接対策講座で指摘された、自分のカウンセリングの癖や、苦手なところを把握したら、それを意識して、RPの録音を聞き直したりするなど、RP練習が有効だと思います。

2 試験当日の状況（試験場での様子を思い出しながら、記述または選択して○をつけてください）

試験日： 1月 17日

試験希望日をこの日に設定した理由は何ですか。

- ・「面接対策講座」の最終日から1週間後に設定しました。理由は、モチベーションを持続させるのと、講座で指摘された改善点を直すのに、1週間ぐらい必要だと思ったからです。

試験会場： 東京 大阪

試験官の性別：男性1人、女性1人 事例番号： 1 2 **3** 4

3 試験の状況（ロールプレイの流れや特徴点について記述してください。その他、試験中に意識したこと、注意したこと、事例相談者の対応など、気づいたことを自由に）

① 導入部	時計を見える位置に置き、終了時間を確認してから、スタート。目の前のCLに集中しようと思いました。
② 基本的態度	よくしゃべってくれるCLでしたが、あいづちや共感的な応答が疎かにならないように注意しました。また、オープンクエスチョンを意識しました。
③ 関係構築	今までの仕事で頑張ってきたことへの労いや、CLの気持ちに共感することに努めました。また、CLが話したい事は全て話した事を確認し、要約をしました。結果、傾聴の時間を多くとりました。
④ 問題把握	自己理解・仕事理解・思い込みがないかというキーワードを頭に置きながら、CLの話の話を聴きました。CLの気持ちや考えに、CC視点の問題点が潜んでいないかを注意深く聴きました。
⑤ 具体的展開	方策に入ってから、「事務の仕事は嫌だ」など、CLが突然言ってきた場合でも動揺せず、方策の大筋の流れから、枝葉の部分に逸れないようにしました。それも含めて一緒に考えていきたいと思います、対応しました。
⑥ 口頭試問の内容と回答	<p>① 良かった点と改善点⇒前半でCLの話を気持ちに寄り添いながら、じっくりと聴いたので、CCの問題把握ができた。また、前半に時間をかけたため、方策の展開が少ししか取れなかった。</p> <p>② ラポールは形成できたか?それはどこで⇒できた。長年頑張ってきた仕事の話の話を聴き、労ったところ、CLの表情がイキイキと変わったところ。</p> <p>③ CLの問題点 CCの問題点は何か?⇒CL体力的にも技術的にも、現職ではついていけなくなっている。これ以上職場の人に迷惑をかけたくないので、転職しようかと考えている。CC社内で自分を活かす仕事があるか探し、上司にそのことを相談していない点。</p> <p>④ できた方策と今後の展開は?⇒①自分が定年まで働く上で、どんな仕事だったらやっていけそうか働く条件を整理した。②①であげた条件に合う仕事の内容を、経験したことがある同期に、詳しい仕事内容を聞くことを提案した。③②で得た情報をもとに、上司に相談する準備を行う。</p>
<p>これから受検する人へのアドバイス</p> <p>RPの後の口頭試問は、緊張感やRPの余韻を引きずっていたりと、何度経験しても、自分の頭と心を切り替えるのが大変です。普段から自分のRPを振り返り、それを口に出す癖をつけておくと、本番でも言葉が出てくると思います。</p>	